朝礼3分ケーススタディ ＆ 制度共有シート

2026年10月第4週号：『子ども扱いしないで！』尊厳を守る声かけ ＆ 個別機能訓練記録のNG/OK転記例

ケーススタディ

🎙️ 10/23(金) ep015 連動（アスカ・ヒロ・ユウスケ）

「子ども扱いしないで！」プライドを守る声かけと教材選び

【現場のリアルな悩み】 「こんな子どもみたいなプリントやらないよ！」と利用者様に拒否され、どう声をかければいいか固まってしまった経験はありませんか？ 可愛いイラストや小学生向け計算ドリルを渡されると、ご本人は**「テストされている」「子ども扱いされた」**とプライドを傷つけられ、強い反発につながります。

❌ 拒否されやすいNG声かけ（訓練・評価）

「頭の体操ですよ！」「今日の脳トレをしましょう」

⚠️ **反発を招く理由：**スタッフが「評価する側」、利用者が「テストされる側」の上下関係が生じ、「自分は能力が衰えたと見下されている」と屈辱感を感じさせてしまいます。

⭕ 心を開く神対応声かけ（相談・敬意）

「昔の知恵や季節の言葉をスタッフに教えていただけませんか？」

✨ **成功の鍵：**「訓練」ではなく「人生の大先輩に教わる」形へ役割を逆転。自尊心と誇りが守られ、「それなら教えてあげよう」と自然にペンを持っていただけます。

💡 プライドを守る教材選び・3つの鉄則

① 幼児向けイラストの排除
キャラクターや過度な装飾を排し、新聞コラムや活字雑誌のような落ち着いたデザインを採用。

② 「昔の記憶」を引き出す題材
単なる暗算ではなく、昭和の駄菓子・民具・ことわざなど「語りたくなる回想要素」を盛り込む。

③ 段階別で「選べる」工夫
初級〜上級を揃え、一律配布ではなく「どちらにしますか？」とご自身に難易度を選んでいただく。

制度・記録共有

🎙️ 10/19(月) ep013 連動（ユウスケ・ヒロ・アスカ）

個別機能訓練の記録、「楽しかった」だけで監査NGになる本当の理由

【運営指導（実地指導）の核心】 記録に「楽しく参加された」「笑顔が見られた」とだけ書いていませんか？ 算定の根拠として問われるのは**感想ではなく「個別機能訓練計画の目標に対する客観的評価」**です。自宅での生活目標（服薬管理、金銭管理、歩行・立位維持等）と課題がどう連動しているかが厳しく問われます。

❌ 指摘を受けやすいNG記録例（感想のみ）

【NG記録文例】
「笑顔が見られ、楽しく計算プリントに参加された。」
「特に問題なく穏やかに脳トレ課題に取り組まれた。」

⚠️ 課題の達成度や生活目標とのつながりが皆無で、監査で「訓練の必要性・効果が不明」と判定される恐れ。

⭕ そのまま使える！OK記録文例（生活目標連動）

【OK記録文例：計算・判断力課題】
「15分間集中して計算課題を自力完遂。在宅生活での服薬・金銭管理に必要な集中力と短期記憶の維持を確認。」

✨ 「所要時間・自力完遂度」＋「生活目標（服薬・金銭管理）」をセットで明記。

【OK記録文例：回想・言語課題】
「昭和の暮らし回想パズルにて昔の農作業体験を積極的に発言。他者との交流意欲および発語・自発性の向上を確認。」

✨ 「具体的な発言内容」＋「他者交流・発語の生活機能」を連動評価。

⚡ 【本日の朝礼3分アクション】今日の現場で実践すること

- ☐ **レク配布時：**「大人の知恵をスタッフに教えてください」と頼る声かけを試してみる。
- ☐ **機能訓練記録時：**「所要時間・自力度」と「生活機能（服薬・金銭・交流）への視点」を1行添える。